



# 2021年度 SBIR推進プログラム 公募説明資料

2021年8月  
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（N E D O）  
イノベーション推進部

# 1. 事業の目的

---

## ～日本版SBIR(Small Business Innovation Research)制度～

- イノベーション創出の促進を図るため、内閣府を司令塔とした省庁横断でスタートアップ等への予算の支出機会の増大や統一ルールの策定等を強化した新たな取組み。



## SBIR推進プログラム

- 政府が提示する研究開発課題に取り組む中小企業・スタートアップ企業の研究開発及び事業化を支援することで、社会課題を解決すると同時に、我が国の産業競争力強化を目指す。

## 2. 事業の全体像

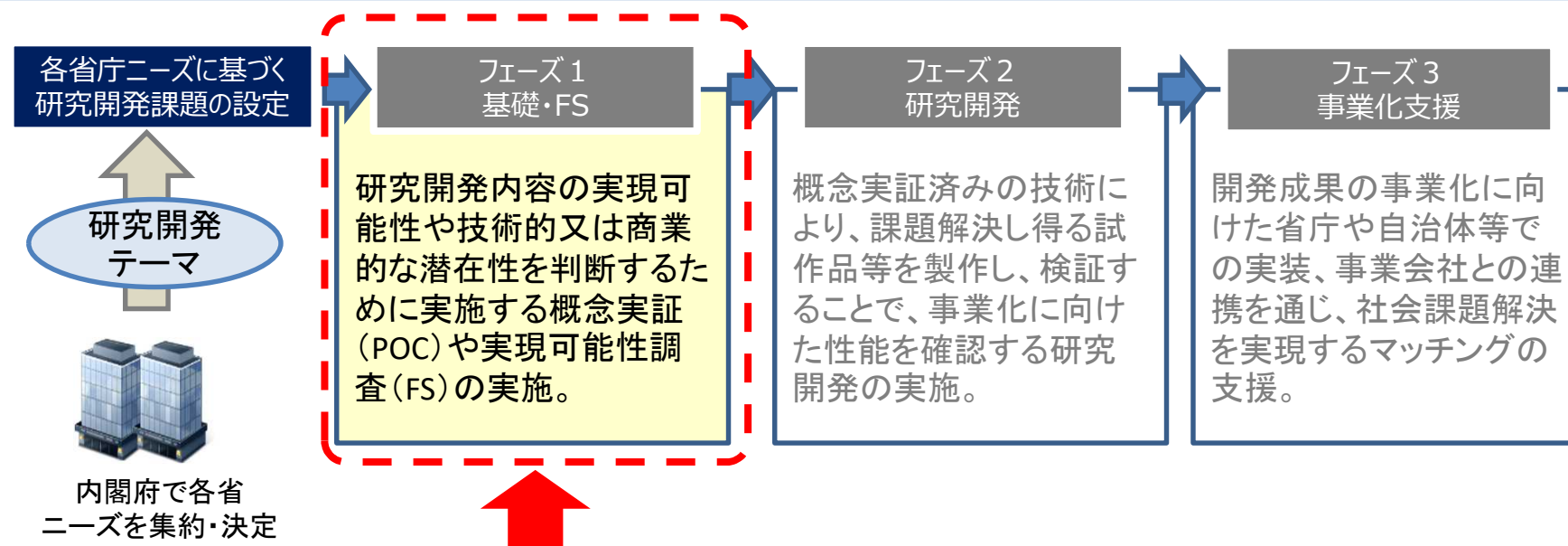
◆ 研究開発テーマを政府機関等から提示

◆ 研究開発のフェーズを3段階に分類し、進展度合いに合わせ支援を実施

**フェーズ1**：研究開発内容の実現可能性や技術的又は商業的な潜在性を判断するために実施する概念実証（POC）や実現可能性調査（FS）の実施

**フェーズ2**：概念実証済みの技術により、課題解決し得る試作品等を製作し、検証することで、事業化に向けた性能を確認する研究開発の実施

**フェーズ3**：開発成果の事業化に向けた省庁や自治体等での実装、事業会社との連携を通じ、社会課題解決を実現するマッチングの支援



※ 今年度(2021)につきましては、フェーズ1のみの公募となります。

### 3. 2021年度SBIR推進プログラム 概要

対象者	中小企業・スタートアップ企業 (学術研究機関等は、再委託・共同実施により参画可)
事業形態	委託 (NEDO負担率：100%)
委託費上限	1,500万円/事業期間
事業期間	採択決定から2022年3月
対象フェーズ	フェーズ1 (基礎・FS)
対象テーマ	対象テーマ一覧のとおり

- 取得資産は委託事業終了後、「事業終了日の残存簿価」での有償譲渡となります。
- 事業の全部を一括して第三者等に再委託・共同実施を行うことはできません。
- 再委託等は学術機関等との実施に限ります。その他機関との再委託等は行うことはできません。

\*「学術機関等」

国公立研究機関、国公立大学法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、独立行政法人、公設試験研究機関及びこれらに準ずる機関

## 4. 実施体制

	代表 提案者	共同 提案者	共同 実施先	委託先	(外注先)	備考
中小企業 スタートアップ	○	○	×	×	○	
大企業	×	×	×	×	○	みなし大企業を含む
大学・公的 研究機関・ 高専	×	×	○	○	○	
海外企業・ 機関等	×	×	×	×	○	
備考	全体の対象費用 の50%以上と する		交付決定時にお ける委託費総額 の50%未満を 対象とする	交付決定時にお ける委託費総額 の50%未満を 対象とする	研究開発要素の ない、委託事業 の遂行に必要な、 加工・分析等の 請負	

## 5. 研究開発テーマ

番号	研究開発テーマ
1	人とコミュニケーションが取れるロボット技術の研究開発
2	ゲート型量子コンピュータの利活用に向けた、制御システムの設計や、アプリケーションソフトウェアの開発
3	農林水産業・食品産業の課題解決に貢献する研究開発
4	IoT等の活用による内航近代化
5	静止衛星ひまわりのデータを用いた社会課題解決に貢献する新たなサービス開発
6	社会インフラの維持管理に貢献する研究開発
7	安全安心なまちづくりに貢献する技術の開発（防犯予測、ドローン対処、拾得物情報の合理化等）
8	災害・人命救助に貢献する研究開発（パワーアシスト技術等）
9	宇宙開発における課題解決のための技術開発
10	海洋における課題解決のための技術開発
11	CPSによるレーザー加工技術の確立
12	量子センサを用いたウイルス感染センサデバイスの開発

## 6. 提案アプローチ

- 提案に当たっては、**2つのアプローチでの提案が可能**です。
  - ① 具体事例（個別テーマ）に合致する提案
  - ② 具体事例（個別テーマ）に合致しないが、研究開発テーマ（大テーマ）に資する提案
- 番号を選択し、申請書に記載してください。

### 別添1 公募する提案テーマ(抜粋)

別添1

番号	研究開発テーマ (大テーマ)	概要	具体事例 (個別テーマ)
1	人とコミュニケーションが取れるロボット技術の研究開発	人命救助や医療支援などの場をはじめとして、人との役割分担や相互補助など連携・協力しながら作業を行えるロボットへの需要は高い。ボトルネックとなっている「人の価値観（優先事項や回避事項）認識」や「自律的な判断行動」を実現するロボット技術の開発に成功すれば、さらなる民間研究開発投資が期待できる。	例：「人と協調できる信頼性を有する連携ロボット技術」 人の価値観を理解し、人に信頼されるロボット技術を目指したい。 具体的には、 <u>人が信頼して協調連携するために必要な技術、例えば人の価値観（優先事項や回避事項）を認識すること、自律的に判断行動できること、自然な方法（言語、手振りなど）によりコミュニケーションを可能とすることを実現する技術を得たい。</u>

②

①

## 7. 審査のポイント

### (1) 研究開発テーマと合致しているか

SBIR推進プログラムの趣旨と整合しているか  
提案内容が基本計画の目的、目標に合致しているか

### (2) 技術の優位性

提案された方法に新規性があり、技術的に優れているか  
コア技術の強み、保有技術、知的財産の確からしさ

### (3) 事業化の可能性

国民生活や経済社会への波及効果は期待できるか

### (4) 実施計画の実現性

提案内容・研究計画は実現可能か（研究計画、目標、ビジネスの妥当性等）  
研究開発を遂行するための高い能力を有するか  
（関連分野の開発等の実績、優秀な研究者等の参加、財務状況等）

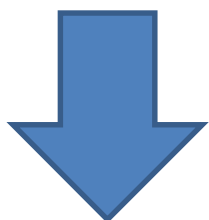
※審査は書面審査のみで行います。審査過程でのプレゼンや面談はありません。8



## 8. 提案書類について

### 【主な提出書類】

- 提出資料 1 提案書
- 提出資料 2 情報項目シート (Excel)
- 提出資料 3 提出書類チェックリスト
- e-Rad応募内容提案書
- 会社案内 (会社経歴、事業部、研究所等の組織等に関する説明書)
- 直近の事業報告書
- 直近の財務諸表 (3年分)
- 納税証明書 (その1) 及び納税証明書 (その2)
- 株主名簿



### 全てのファイルが一つのzipファイルにまとめて提出

- アップロードするファイル提出書類はPDF形式であるか
- アップロードファイル名は半角英数字か

受付期間：2021年8月16日（月）～ 2021年9月17日（金）正午迄

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/fyg6zwoetfoo>

## 9. e-Radへの登録

### e-Radとは：

各府省が所管する競争的資金制度を中心として研究開発管理に係る一連のプロセスをオンライン化する府省横断的なシステムです。

- **e-Radの登録が無い場合には、本公募の審査対象となりません。**
- e-Radの登録（府省共通研究開発管理システム）の申請を行い、登録されたID番号を提案書、情報ファイルに記載する必要があります。  
e-Rad ポータルサイト <https://www.e-rad.go.jp/>
- 先ずは研究機関登録を行いID及びパスワードを取得してください。

### 注意事項

- **登録には日数を要する場合がありますので、2週間以上の余裕をもって手続きを行うこと。**
- 応募基本情報の入力及び応募内容提案書の出力などは研究機関IDでログインすること。研究者IDでログインすると、本公募への応募の入力が出来ません。
- 提出締切日までにシステムの「応募/採択課題一覧」の申請の種類（ステータス）が「配分機関処理中」となっている必要がある。正しく操作しているにもかかわらず、「配分機関処理中」にならない場合は、e-Radのヘルプデスクに確認すること。
- 申請書の受理状況は、「応募/採択課題一覧」から確認可能。

## 10. 応募に当たっての留意点

---

(提出に当たって)

- 持参、郵送、FAX又は電子メールによる提出は受け付けておりません。
- 書類の不備がないことを確認をお願いします。(不備等ある場合は原則審査対象外)
- 「提出書類のチェックリスト」で提出書類を確認をお願いします。(チェックリストも要提出)。

(取得資産について)

- 取得価額が50万円(税込)以上の機械装備はNEDOへの資産登録が必要です。
- 取得資産は委託業務以外での目的外使用ができません。
- 取得資産は委託事業終了後、「事業終了日の残存簿価」での有償譲渡となります。

\* 事業期間が短期間のため取得資産の計上は注意

(その他)

- 実施期間中、テーマ提供機関との面談及びNEDOが委嘱する伴走者による助言活動等を実施します。
- 対象事業は、フェーズ1のみです。事業終了後、同テーマでのフェーズ2実施は未定です。
- 本事業は、内閣府の官民研究開発投資拡大プログラム (PRISM) の一環として、実施状況調査や事業終了後のフォローアップ等を実施します。

## 1 1. 今後のスケジュール（予定）

スケジュール	主なイベント
9月17日正午	公募締切り
9月17日～11月上旬	公募審査
11月中旬	採択決定、実施計画書作成・契約手続き
11月～3月	フェーズ1 事業実施
3月末	事業終了（実績報告等の提出）
終了後	フォローアップ調査



## お問い合わせ先

N E D Oイノベーション推進部  
プラットフォームグループ  
[sbir-r3@nedo.go.jp](mailto:sbir-r3@nedo.go.jp)

- ご不明点は上記メールにてお問い合わせください。
- 9月15日（金）10時まで問い合わせを受け付けております。

- NEDOホームページ : <https://www.nedo.go.jp/index.html>
- 本事業のホームページ : [https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2\\_100318.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100318.html)
- 公募要領 : <https://www.nedo.go.jp/content/100935913.pdf>